



# International Chopin Piano Competition in ASIA

## ショパン国際ピアノコンクール in ASIA



Member of the  
Alink-Argerich  
Foundation

### コンクールについて

本コンクールは、優美かつ華麗なショパンの音楽を通じて国際レベルの優れた演奏家を発掘・育成することを目的としています。近年ではアジア圏でプロを目指すピアニストの登竜門の一つとして注目されており、また世界各国で行われている様々な“ショパンコンクール”の中でも高く評価されているコンクールとなりました。

コンクールとそこから派生する様々な活動がポーランドとアジア各国の文化交流の架け橋となり、アジアの音楽文化発展に貢献できますよう願っております。



### 審査の流れ

#### ■地区大会（国内1次予選相当）

毎年10月中旬～12月初旬に日本全国38箇所※で行われます。（※年度により異なります）

#### ■全国大会（国内2次予選相当）

毎年1月初旬（地区大会の翌年）に東京近郊にて行われます。

#### ■アジア大会（最終審査）

毎年1月上旬～中旬（地区大会の翌年）に、全国大会通過者に加えてアジア各国からの参加者（テープ審査通過者など）を交えて行われます。

### 部門

#### プロフェッショナル部門

プロのピアニストを目指す演奏家の発掘を目的としており、本コンクール最上位の部門です。年齢以外の受験制限はなく、金賞受賞者には賞金と「派遣コンクール」シード参加権が授与されます。尚、派遣コンクールが開催される年度（5年毎）には本部門は設置されません。

#### ソロ部門

幼児～中学生の方、音楽を専門に学ぶ高校生以上の方、及びそれと同等の技術をお持ちの方のための独奏部門。年齢により「幼児」「小学1・2年」「小学3・4年」「小学5・6年」「中学」「高校」「大学」「ソロアーティスト」の8部門に細分されます。※細分方法は年度により変更される場合があります。

#### コンチェルト部門

幼児～高校生の方、音楽を専門に学ぶ大学生以上の方、及びそれと同等の技術をお持ちの方のための協奏部門。年齢により「I(アイ)」「AA」「AB」「B」「C」の5部門に細分されます。※細分方法は年度により変更される場合があります。

#### ショパニスト部門（ショパン愛好家）

ピアノを専門とする現役学生及びピアノ科の卒業生を除く、主にショパン愛好家のための部門。年齢、内容(独奏・協奏)、難易度により「A」「B」「S」「コンチェルトA」「コンチェルトB」の5部門に細分されます。

※細分方法は年度により変更される場合があります。

### 詳細

参加者数、通過者数などについては別紙、開催実績をご参照ください。各部門の通過者名や開催要項等より詳細な情報は、コンクール公式WEBサイト <https://www.chopin-asia.com/> をご参照ください。



## コンクールの特長

### ■ショパンを始めとするポーランド人作曲家による課題曲

本コンクールでは、ポーランドを代表する作曲家による多くの作品を課題曲に取り入れています。これらの楽曲を通して、ポーランドの音楽に慣れ親しみ、理解を深めることができます。

### ■弦楽四重奏との共演による審査（コンチェルト部門）

コンチェルト部門のアジア大会では、ポーランドより来日するプリマ・ヴィスタ弦楽四重奏団との共演による審査となります。アンサンブルの実力を測ることのできる機会となっています。

### ■世界で活躍する入賞者

本コンクールでは、現在国内外で活躍しているピアニストを数多く輩出しています。過去には、牛田智大、小林愛実、ハオチェン・チャン、清塚信也、後藤正孝、関本昌平などが本コンクールで優秀な成績を収めました。

### ■アジア圏をはじめとする海外からの参加者

アジア大会では、テープ審査を通過した海外からの参加者がエントリーします。中国や香港、台湾、タイ、ベトナム、シンガポール、インドネシアなどからの応募があり、国内通過者とハイレベルな演奏を披露しあいます。

### ■ポーランドを中心とする外国人審査員の招聘

地区大会からアジア大会まで、原則として全ての会場に外国人審査員を招聘しています。ポーランドのショパンコンクールで実際に審査をしている教授やピアニストも招聘しており、本場さながらの審査を行っています。

## 審査員（敬称略）

～ポーランドを中心に世界中の著名な教授・ピアニストを招聘



アンジェイ・ヤシンスキ  
第14・15・16回ショパン国際ピアノコンクール審査委員長、第17回同コンクール審査員、カトヴィツェ音楽院教授



ブロニスワヴァ・カヴァラ



ヴォイチェフ・シュビタワ



ディーナ・ヨッフエ



ヨアンナ・ドマンスカ



ピオトル・バナシク



シュチェバン・コンチャル



ピオトル・パレチニ  
第14・15・16回ショパン国際ピアノコンクール副審査委員長、第17回同コンクール審査員、ショパン音楽大学教授



アンナ・マリコヴァ



アンナ・ヤストシェンプスカ  
ニクイン



エイジ・ロマノウク



但 昭義



張 惠園



ガブリエル・クワック

ほか、国内外の著名なピアニスト及び指導者※年度により招聘する審査員は異なります

### ■講評 — 審査員による直筆の講評

原則として、地区大会ソロ部門の小学生、中学生の2部門では、審査員による講評を交付しています。ご自身の演奏を客観的に分析し、今後の学習を進める上での資料としてお役立ていただけます。

◎最新情報、詳細情報はコンクールWEBサイト <https://www.chopin-asia.com/> にて公開しております

いんあじあ

検索

コンクール事務局

有限会社アイエムシー音楽出版 教育事業部

〒171-0033 東京都豊島区高田3-32-3 メイスイビル2F

TEL: 03-6907-2474 FAX: 03-6907-2565 <https://www.chopin-asia.com/>

主催：ショパン国際ピアノコンクールin ASIA組織委員会

運営：アイエムシー音楽出版 教育事業部

後援：文化庁、



ポーランド広報文化センター  
INSTYTUT POLSKI

他

# 第21回シヨパン国際ピアノコンクール in ASIA (2019年度) 開催実績

## ■開催地区・会場

### 地区大会(First Round) 2019年

1	札幌	10月19日(土)	20	静岡	10月19日(土)
2	岩見沢	10月14日(月・祝)	21	豊橋	11月3日(日・祝)・4日(月・休)
3	青森	11月4日(月・休)	22	名古屋	11月9日(土)・10日(日)
4	盛岡	10月27日(日)	23	三重	11月4日(月・休)
5	仙台	11月9日(土)	24	京都	10月20日(日)
6	栃木	10月26日(土)	25	大阪	11月15日(金)・16日(土)
7	茨城	10月27日(日)	26	神戸	11月24日(日)
8	埼玉	11月17日(日)	27	岡山	10月13日(日)
9	千葉	11月9日(土)・10日(日)	28	広島	11月23日(土・祝)・24日(日)
10	東京I	10月19日(土)・20日(日)	29	鳥取	10月14日(月・祝)
11	東京II	11月22日(金)・23日(土・祝)・24日(日)	30	山口	11月23日(土・祝)
12	城南	11月17日(日)	31	香川	11月3日(日・祝)
13	八王子	10月26日(土)	32	松山	11月4日(月・休)
14	横浜	11月15日(金)・16日(土)・17日(日)	33	北九州	11月24日(日)
15	神奈川	10月13日(日)・14日(月・祝)	34	福岡	11月17日(日)
16	新潟	11月4日(月・休)	35	長崎	11月16日(土)
17	富山	11月16日(土)	36	宮崎	11月2日(土)
18	金沢	11月17日(日)	37	鹿児島	11月9日(土)・10日(日)
19	長野	10月19日(土)	38	沖縄	10月27日(日)

### 全国大会(Second Round) 2020年

1月3日(金)～1月10日(金) 昭和音楽大学ユリホール／昭和音楽大学ラ・サール・スカラ／横浜みなとみらいホール 小ホール

### アジア大会(Final Round) 2020年

1月9日(木)～1月15日(木) 昭和音楽大学ユリホール／昭和音楽大学ラ・サール・スカラ／和光大学ポプリホール 鶴川

## ■参加者数と受賞者数

	地区大会		全国大会		海外 通過	アジア大会(最終審査)				
	申込	通過	参加	通過		参加	金賞	銀賞	銅賞	奨励賞
幼児部門	222	115	102	57	2	57	22	-	-	-
小学1・2年生部門	487	226	211	75	1	73	5	9	15	16
小学3・4年生部門	880	304	292	96	1	97	4	8	12	22
小学5・6年生部門	670	242	221	77	2	79	5	7	12	15
中学生部門	555	181	174	60	4	63	5	6	10	14
高校生部門	341	130	125	30	0	29	3	4	7	3
大学生部門	194	67	65	24	2	24	3	3	5	4
ソロアーティスト部門	64	20	17	6	2	8	2	1	3	2
コンチェルト部門	74	40	40	14	2	16	3	2	3	4
コンチェルトAA部門	34	18	18	8	0	8	3	1	4	0
コンチェルトAB部門	15	7	6	3	3	6	2	2	0	2
コンチェルトB部門	42	25	22	5	3	7	2	2	1	2
コンチェルトC部門	19	11	10	5	1	6	1	2	3	0
シヨパニストA部門	128	50	47	20	0	20	2	3	3	5
シヨパニストB部門	79	34	32	9	1	10	2	1	3	4
シヨパニストS部門	61	28	28	15	0	12	2	2	3	2
シヨパニストコンチェルトA部門	22	10	8	2	1	3	1	0	2	0
総計	3,887	1,508	1,418	506	25	518	-	-	-	-

※地区大会の申込数は併願含む延べ人数となります。

※幼児部門の表彰は金賞のみとなります

## ■海外通過者 出身地・人数

部門/出身地	中国	香港	台湾	ベトナム	タイ	シンガポール	インドネシア
幼児部門	2						
小学1・2年生部門				1			
小学3・4年生部門	1						
小学5・6年生部門	1					1	
中学生部門	2	1					1
高校生部門	2						
大学生部門							
ソロアーティスト部門			2				
コンチェルト部門	1				1		
コンチェルトAA部門							
コンチェルトAB部門	2	1					
コンチェルトB部門	2		1				
コンチェルトC部門	1						
シヨパニストA部門							
シヨパニストB部門		1					
シヨパニストS部門							
シヨパニストコンチェルトA部門		1					
合計	14	4	3	1	1	1	1



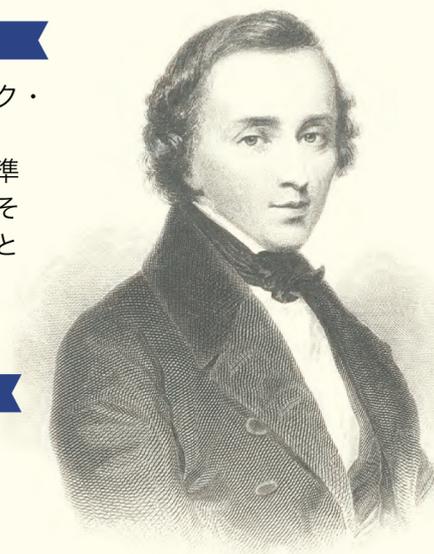
International Chopin Piano Competition in ASIA  
The 5th delegate competition  
ショパン国際ピアノコンクール in ASIA  
第5回派遣コンクール



### 派遣コンクールについて

派遣コンクールは、ワルシャワ（ポーランド）で開催される「フレデリック・ショパン国際ピアノコンクール」の開催に合わせ、5年毎に開催されます。

ワルシャワのフレデリック・ショパン国際ピアノコンクールの参加規約に準ずるという特色に基づき、本コンクールに参加し、選ばれた成績優秀者をその年のフレデリック・ショパン国際ピアノコンクールに派遣することを目的としています。



### 審査の流れ

#### ■第1次審査

指定課題曲（独奏曲）の審査。2019年9月2日～3日に実施。

#### ■第2次審査

指定課題曲（独奏曲）の審査。2019年9月4日～5日に実施。

#### ■第3次審査

指定課題曲（独奏曲）の審査。2020年1月13日～14日に実施。

#### ■最終審査

指定課題曲（協奏曲）の審査。弦楽四重奏による伴奏。2020年1月16日に実施。

### 表彰

#### ●特別推薦者（上位3名）

賞金と、第18回ショパン国際ピアノコンクール（ワルシャワ）の予備予選出場権が授与されます。

※テープ審査が免除となります。

#### ●推薦者（次点3名程度）

賞金獲得権が授与されます。

※賞金は、第18回ショパン国際ピアノコンクール（ワルシャワ）のテープ審査を通過し、予備予選への参加が確定した場合のみ授与されます。

### 第5回派遣コンクール 特別推薦者



進藤 実優  
Shindou Miyu

モスクワ音楽院  
附属中央音楽学校10年



古海 行子  
Furumi Yasuko

昭和音楽大学4年



黒木 雪音  
Kuroki Yukine

昭和音楽大学3年

※学年は2020年1月時のものです

### 詳細

参加者、審査員など詳細な情報は、別紙の開催実績のほか、ショパンコンクールin ASIA公式WEBサイト <https://www.chopin-asia.com/> をご参照ください。

# ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 第5回派遣コンクール (2019年度) 開催実績

本コンクールは、ワルシャワ(ポーランド)で開催される「フレデリック・ショパン国際ピアノコンクール」の開催に合わせ、5年毎に開催される。ワルシャワのフレデリック・ショパン国際ピアノコンクールの参加規約に準ずるという特色に基づき、本コンクールに参加し、選抜された成績優秀者をその年のフレデリック・ショパン国際ピアノコンクールに派遣することを目的としている。

## ■表彰について

特別推薦者(上位3名)	賞金に加え、第18回ショパン国際ピアノコンクール(ワルシャワ)の予備予選出場権を獲得※ ※テープ審査が免除となる
推薦者(次点3名程度)	賞金獲得権※ ※第18回ショパン国際ピアノコンクール(ワルシャワ)のテープ審査を通過し、予備予選への参加が確定した場合のみ授与される。

## ■開催地区・会場

開催地区・会場	開催日	内容	会場
第1次審査	2019年9月2日(月)・3日(火)	指定課題曲(独奏曲)の審査	昭和音楽大学ユリホール
第2次審査	2019年9月4日(水)・5日(木)	指定課題曲(独奏曲)の審査	昭和音楽大学ユリホール
第3次審査	2020年1月13日(月・祝)・14日(火)	指定課題曲(独奏曲)の審査	昭和音楽大学ユリホール
最終審査	2020年1月16日(木)	指定課題曲(協奏曲)の審査※ ※弦楽四重奏による伴奏	昭和音楽大学ユリホール

## ■参加者数と受賞者数

	第1次審査			第2次審査		第3次審査		最終審査		
	参加	通過	シード通過	参加	通過	参加	通過	参加	特別推薦	推薦
派遣コンクール	43	27	3	30	18	18	8	8	3	3

※シード通過: 第17回~第20回ショパン国際ピアノコンクールin ASIAのプロフェッショナル部門において金賞を受賞した者

## ■第1次審査参加者の出身地・人数

日本	中国	オーストラリア
41	1	1

## ■審査員(順不同、敬称略)

第1次審査		
審査員長	江口 文子	昭和音楽大学主任教授、同附属ピアノアートアカデミー主任教授、全日本ピアノ指導者協会理事
	アンナ・グレッツカ	カトヴィツェ音楽院教授・ピアノ学科長
	フリッツ・ジュジアーノ	ピアニスト、第13回ショパン国際ピアノコンクール最上位
	マгдаレナ・リサク	カトヴィツェ音楽院准教授、第13回ショパン国際ピアノコンクール第6位入賞
	菊地 麗子	東京音楽大学客員教授、昭和音楽大学客員教授
	重松 聡	武蔵野音楽大学教授、同大学演奏部長、日本ピアノ教育連盟理事
	柴田 龍一	音楽評論家
	高橋 多佳子	ピアニスト、第12回ショパン国際ピアノコンクール第5位入賞
第2次審査		
審査員長	菊地 麗子	東京音楽大学客員教授、昭和音楽大学客員教授
	アンナ・グレッツカ	カトヴィツェ音楽院教授・ピアノ学科長
	フリッツ・ジュジアーノ	ピアニスト、第13回ショパン国際ピアノコンクール最上位
	マгдаレナ・リサク	カトヴィツェ音楽院准教授、第13回ショパン国際ピアノコンクール第6位入賞
	東 誠三	東京芸術大学教授、東京音楽大学客員教授
	多 美智子	東京芸術大学名誉教授、同大学ジュニアアカデミー講師、元東京芸術大学附属高等学校校長、日本ピアノ教育連盟副理事長
	三上 桂子	桐朋学園大学名誉教授
	三谷 温	昭和音楽大学教授
第3次審査		
審査員長	江口 文子	昭和音楽大学主任教授、同附属ピアノアートアカデミー主任教授、全日本ピアノ指導者協会理事
	ピオトル・パレチニ	フレデリック・ショパン音楽大学教授、第14~16回ショパン国際ピアノコンクール副審査員長
	ディナ・ヨツフェ	リゼウ高等音楽院(バルセロナ)名誉教授、中央音楽学院(北京)客員教授、Talent Music Masters(イタリア)教授
	ヴォイチェフ・シュヴィタワ	カトヴィツェ音楽院ピアノ科教授、同音楽院副学長
	但 昭義	中央音楽学院・上海音楽学院・中華人民共和国音楽学院客員教授、四川音楽学院特別教授、深圳芸術学校終身名誉教授
	ガブリエル・クワック	香港演芸学院鍵盤楽器科主任、深圳芸術学校・西安音楽院・上海音楽学院・武漢音楽院客員教授
	岡本 美智子	桐朋学園大学音楽学部ピアノ科特命教授
	菊地 麗子	東京音楽大学客員教授、昭和音楽大学客員教授
	坂井 千春	東京芸術大学准教授
	三上 桂子	桐朋学園大学名誉教授
最終審査		
審査員長	菊地 麗子	東京音楽大学客員教授、昭和音楽大学客員教授
	ピオトル・パレチニ	フレデリック・ショパン音楽大学教授、第14~16回ショパン国際ピアノコンクール副審査員長
	ディナ・ヨツフェ	リゼウ高等音楽院(バルセロナ)名誉教授、中央音楽学院(北京)客員教授、Talent Music Masters(イタリア)教授
	ヴォイチェフ・シュヴィタワ	カトヴィツェ音楽院ピアノ科教授、同音楽院副学長
	アンナ・ヤストシェンブスカ＝クイン	フレデリック・ショパン音楽大学教授、鍵盤学部長
	但 昭義	中央音楽学院・上海音楽学院・中華人民共和国音楽学院客員教授、四川音楽学院特別教授、深圳芸術学校終身名誉教授
	張 惠蘭	梨花女子大学名誉教授、Ewon Cultural Center and Institute会長、大韓民国芸術院会員、韓国ピアノ学会理事長
	ガブリエル・クワック	香港演芸学院鍵盤楽器科主任、深圳芸術学校・西安音楽院・上海音楽学院・武漢音楽院客員教授
	有森 博	東京芸術大学教授、大阪音楽大学特任教授、桜美林大学客員教授
	江口 文子	昭和音楽大学主任教授、同附属ピアノアートアカデミー主任教授、全日本ピアノ指導者協会理事
	坂井 千春	東京芸術大学准教授
	柴田 龍一	音楽評論家

## 最終審査伴奏 プリマヴィスタ弦楽四重奏団 <https://management.imc-music.net/artists/int-chamber/prima-vista>

1st Vn.	クシユトフ・ブゾウカ	ポーランド室内管弦楽団とシンフォニア・ヴァルソヴィアの元メンバーから構成されている、ポーランドを代表する室内アンサンブル。国際的なリストとの共演も数多く、E.ポプウォツカ、P.パレチニ、K.ヤブウォンスキ等と、モーツァルトやショパン「ピアノ協奏曲」室内楽版や「ザレンブスキ「ピアノ五重奏」、K.A.クルカ、J.スタニエダとのヴィヴァルディ「四季」の演奏等が挙げられる。ポーランド内外の音楽祭にも頻りに招待されている他、ジャズピアニスト、ジャズサクソフ奏者との共演や、映画音楽への参加など幅広い音楽活動を展開している。
2nd Vn.	ヨゼフ・コリネック	
Vla.	ピオトル・ノヴィツキ	
Vc.	イェジ・ムランティ	

第21回シヨパン国際ピアノコンクール in ASIA 及び 第5回派遣コンクール  
スポンサー実績(順不同)

協賛	Little Pianist(リトルピアニスト) ムジカテミス
提携	公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団(八王子地区大会)
協力	横浜市磯子区民文化センター杉田劇場 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、特定非営利活動法人チーム杉劇、有限会社アイコンクス、株式会社ニックスサービス 共同事業体) 横浜みなとみらいホール
後援	文化庁 ポーランド広報文化センター 神奈川県(神奈川文化プログラム) 株式会社音楽之友社 株式会社ハンナ 株式会社全音楽譜出版社 株式会社ヤマハミュージックジャパン C.BECHSTEIN JAPAN カワイ音楽振興会 ユニバーサルミュージック合同会社 株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ 昭和音楽大学 東邦音楽大学 常盤木学園高等学校 名古屋音楽大学 一般財団法人宇多津町振興財団 株式会社エルム楽器 株式会社上野楽器 スター楽器株式会社 株式会社伊藤楽器 株式会社わたじん楽器 日本ピアノホールディング株式会社 株式会社ヒオキ楽器 株式会社開進堂楽器 ピアノフォルテ音楽院 株式会社旭堂楽器店 株式会社日本楽芸社 株式会社ピアノハーブ社 文教楽器株式会社 船橋市教育委員会 長野市教育委員会 下関市教育委員会 米子市 富山市 鹿児島市 鹿児島市教育委員会 Siam Central Rama 3 Conservatory (タイ)